

1 ねらい

令和3年度、安城東高校は、東京大学教養学部と連携協定を提携しました。高校の授業と大学・将来の仕事を橋渡しする東大発オンライン教養講座（無料）を提供します。

2 「雪かき」の内容

アメリカ外交、英文学、言語学、思想史、源氏物語、人工知能、iPS細胞、バイオテクノロジー、スポーツ科学、タイムマシン、ニュートリノ、放射線、8K映像、ルベグ積分など。高校までに習う科目の垣根を越えた分野（たとえば文理融合分野や生物物理学など）の講座

3 参加のメリット

- 東京大学発の高校生・大学生向けの教養講座を受講することで、大学の研究の中身を学べる。
- 連携協定を締結した全国50以上の高校の生徒からの質問や研究者の回答を共有でき、刺激的である。
- 高校の授業と大学での研究や将来の仕事とのつながりがわかるので、高校時代にすべきことが一層明確になる。
- これらの知的な「雪かき」により、頭が良くなったと思い、そのことを人に話したくなるので、コミュニケーション能力が高まり、会話の質も変化する。

4 参加方法

- 事前に連絡する講座受講用アドレスに受講者がアクセスし、自宅で各自が所有するデバイスから受講可能
- 事前の講座申し込みは不要、興味のある講座を受講すればよい。毎週金曜日17:30からリアルタイムで1時間開講され、その後30分程度、音声にて質疑応答の時間が設定されている。
- アクセス用URL、注意事項等はClassiのコンテンツに後日収納
* 部活動、課外などを優先してください。

5 参加した教員の感想

- 視聴講座；「生き物の群れと微生物の泳ぎを物理の目線で見emたら」（5/28）
- 「ワンクリックで東大と全国の連携校とつながり、皆が同じテーマで同時に考えていることを思うとやる気が出る。大学の研究の面白さがわかります。」
 - 「高校で学ぶいろいろな科目同士のつながりが理解できる。各自の今の興味関心を越えて参加してみると、知的な広がり生まれるのだろう。」
 - 「高校で学習していることが大学や社会でどう役立てられていくのか、よくわかった。高校の学習の大切さが身に染みる。」

7月までの教養講座内容（予定）

●6月11日（金）概要

大江健三郎のデビュー作「奇妙な仕事」を読む

1.日時：2021年6月11日（金） 17時30分から

2.高校と本学学生・教職員、東大駒場友の会会員へのオンライン配信のみ

•講師：村上 克尚

東京大学 教養学部 教養学科・准教授

【講義概要】

ノーベル賞作家である大江健三郎氏の自筆原稿が、東京大学文学部に寄託されることが発表されました。その原稿だけでも、五〇点、一万枚以上に及ぶそうです。戦後という時間のほとんどを覆う、大江氏の持続的な創作活動に改めて頭が下がる思いがします。この講座では、一九五七年、東京大学在学中に発表されたデビュー作「奇妙な仕事」の読解を通じて、大江氏の文学の核心にあるものについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

●6月18日以降の予定

6月18日（金） 17時30分から **デジタルゲームの感性学**

講師：吉田 寛

東京大学 文学部 思想文化学科・准教授

6月25日（金） 17時30分から **「良い定義」の発見が世界を変える**

講師：佐々田 槇子

東京大学 理学部 数学科・准教授

7月9日（金） 17時30分から **サメを科学する**

講師：兵藤 晋

東京大学 大気海洋研究所・教授

7月16日（金） 17時30分から **不平等の社会学：データから社会を考える**

講師：橋本 摂子

東京大学 教養学部 教養学科・准教授